

令和4年度 介護支援専門員更新研修(実務未経験者) プログラム

日にち		課目	時間		目的	
1 日目	6月27日 (月)	開講・オリエンテーション	8:50 ～ 9:00			
		介護保険制度の理念・ 現状及びケアマネジメン ト	9:00 ～ 12:00	講 義 3時間	介護保険制度の理念等を理解するとともに、地域包 括ケアシステムの構築に向けた取組の現状を理解す る。また、介護保険制度における利用者の尊厳の保 持及び自立支援に資するケアマネジメントの役割を理 解し、地域包括ケアシステムにおける介護支援専門 員の役割を認識する。	
		昼食休憩 45分				
		人格の尊重及び権利擁 護並びに介護支援専門 員の倫理	12:45 ～ 14:45	講 義 2時間	—	人権と尊厳を支える専門職に求められる姿勢を認識 する。また、介護支援専門員としての職業倫理を理 解するとともに、日常業務で直面する倫理的課題等を認 識する。
		介護支援専門員に求め られるマネジメント(チ ームマネジメント)	14:50 ～ 16:50	講 義 演 習 2時間		多職種に対する理解・尊重に基づいてチームを組成 し、円滑に機能させるための基本的な技術を修得す る。
2 日目	7月1日 (金)	自立支援のためのケア マネジメントの基本	9:30 ～ 16:35	講 義 演 習 6時間	昼食 休憩 45分 休 憩 10分 ×2回 利用者の尊厳の保持及び自立支援に資するケアマネ ジメントの視点を理解する。 また、利用者が住み慣れた地域で主体的な生活を送 ることができるように支援することの重要性を理解す るとともに、在宅生活を支援する上で、家族に対する 支援の重要性を理解する。	
3 日目	7月12日 (火)	ケアマネジメントに必要 な医療との連携及び多 職種協働の意義	9:00 ～ 12:00	講 義 3時間	医療との連携や多職種協働の意義を踏まえ、具体的 な連携の場面で必要となる基本的な知識や連携の手 法を修得する。	
		昼食休憩 45分				
		地域包括ケアシステム 及び社会資源	12:45 ～ 15:45	講 義 3時間		地域包括ケアの理念を踏まえ、地域包括ケアを推進し ていくに当たり介護支援専門員に求められる役割を理 解する。また、利用者を支援する上で知っておくべき 各種制度や地域の社会資源の重要性を理解する。
		ケアマネジメントに係る 法令等の理解	15:50 ～ 17:50	講 義 2時間	法令を遵守し、介護支援専門員の業務を適切に遂行 できるよう、介護保険制度に係る法令等を正しく理 解する。	
4 日目	7月19日 (火)	ケアマネジメントの展開 ・基礎理解	9:00 ～ 12:00	講 義 演 習 3時間	ケアマネジメントは高齢者の生理、心理、生活環境な どの構造的な理解に基づいて行われる必要があること を理解する。	
		昼食休憩 45分				
5 日目	7月29日 (金)	ケアマネジメントの展開 ・認知症に関する事例	12:45 ～ 18:00	講 義 演 習 5時間	看取りにおける留意点や起こりやすい課題を踏まえた 支援に当たってのポイントを理解する。	
6 日目	8月4日 (木)	ケアマネジメントの展開 ・筋骨格系疾患及び廃 用症候群に関する事例	10:00 ～ 16:00		認知症の特性や療養上の留意点、起こりやすい課題 を踏まえた支援に当たってのポイントを理解する。	
7 日目	8月12日 (金)	ケアマネジメントの展開 ・脳血管疾患に関する 事例	10:00 ～ 16:00		筋骨格系疾患及び廃用症候群の特性や療養上の留 意点、起こりやすい課題を踏まえた支援に当たっての ポイントを理解する。	
8 日目	8月21日 (日)	ケアマネジメントの展開 ・内臓の機能不全(糖尿 病、高血圧、脂質異常 症、心疾患、 呼吸器疾患、腎臓病、 肝臓病等)に関する事 例	10:00 ～ 16:00		脳血管疾患の特性や療養上の留意点、起こりやすい 課題を踏まえた支援に当たってのポイントを理解す る。	
9 日目	8月30日 (火)	アセスメント及び居宅 サービス計画等作成の 総合演習	9:30 ～ 15:30	講 義 演 習 5時間	昼食 休憩 45分 休 憩 15分 研修全体での学びを踏まえ、アセスメントから居宅 サービス計画等の作成からモニタリングまでを一貫し て行い、ケアマネジメントプロセスについて更なる理 解を深める。	
		閉講・オリエンテーション	15:30 ～ 15:40			